

「多用途支援艦ひうち」艦艇広報 海上自衛隊をPR



新潟地本（本部長 1陸佐 大倉正義）は、8月3日（土）4日（日）の両日、新潟西港（新潟市東区）において「多用途支援艦ひうち」の特別公開及び一般公開を実施しました。



この公開は新潟開港150周年記念事業の一環として新潟西港で開催されたものであり、初日には地元のテレビ局や新聞社のメディアが取材に来るなど大きな注目を集め、2日間で約2600人の来場者が訪れ、会場は大きく賑わいました。



特別公開では、2日間で募集対象者ら40名が参加し、艦内では「多用途支援艦」の任務や性能等の説明を受けた後、艦橋や機関室などを見学した。艦橋では隊司令席、艦長席に座り気分を味わうとともに、双眼鏡を覗き、艦橋からの景色を楽しんでいた。昼食は体験喫食にて、海自名物の「海軍カレー」に各々が舌鼓みを打っていました。



一般公開では市民や観光客らが艦内に展示された装備品を珍しそうに眺めたり、乗組員の女性隊員達と記念撮影をするなどして楽しんでいました。参加者からは「多用途支援艦より何倍も大きい護衛艦を曳航できるなんてすごい」など驚きの声を聞くことができました。



新潟地本は岸壁に広報ブースを設置し、制服試着コーナー、スタンプラリー、自衛隊活動パネルの展示を実施するとともに、第30普通科連隊の支援を受け車両展示を行い、隊員が来場者と笑顔で記念撮影に応じるなど、陸上自衛隊も大きくPRしました。

新潟地本は、今後も様々な艦艇広報を通じて海上自衛隊の活動をPRするとともに、募集広報基盤の拡充を図っていきます。